



# 2018年3月期 第2四半期 決算説明会

---

2017年11月2日

 **丸文株式会社**

# 本日説明のポイント

## ■2018年3月期 上期業績

売上高 1,698億円（前年同期比 33.0%増）

経常利益 13億円（前年同期は 1.9億円の損失）

## ■2018年3月期 通期業績見通し

売上高 3,260億円（前期比 20.4%増）

経常利益 40億円（前期比 50.9%増）

## ■中期経営計画の進捗

### デバイス事業

- 自動車・産業機器向けビジネスが順調に拡大
- 新規商材やグローバル展開で進展

### システム事業

- レーザー機器を中心に取組みに成果



# 2018年3月期 第2四半期 連結決算の概要

---

# 2018年3月期 上期 連結決算サマリ（前年同期比）

## ■売上高 1,698億円（前年同期比 421億円増）

- デバイス事業 通信機器・産業機器・自動車、ゲーム機向け半導体の増加
- システム事業 電子部品組立検査装置、医用機器の減少

## ■営業利益 17億円（前年同期は 4億円の損失）

- 販管費 退職給付費用の減少

## ■経常利益 13億円（前年同期は 1.9億円の損失）

- 営業外費用 貸倒引当金の繰入

## ■純利益 3億円（前年同期は 3億円の損失）

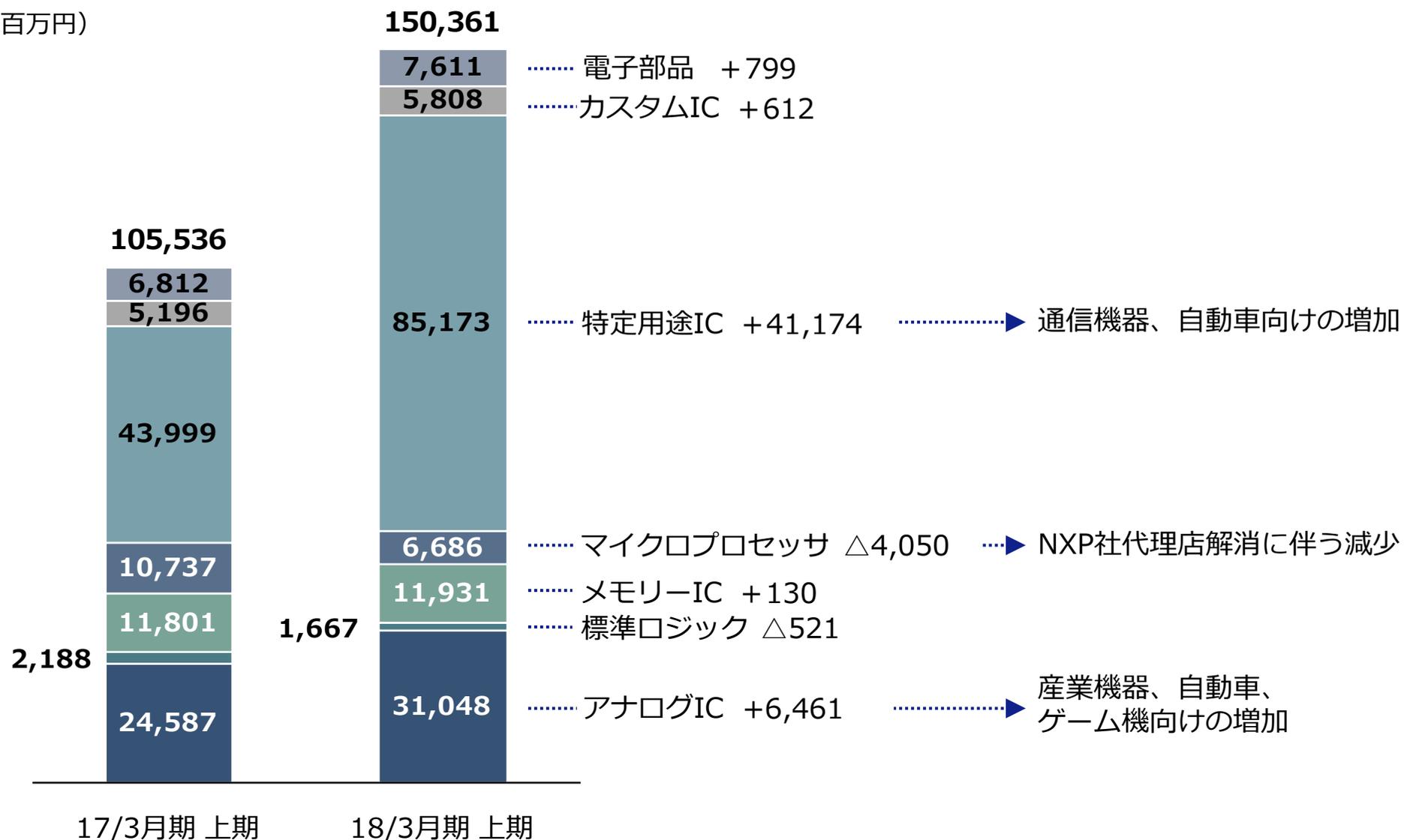
- 特別損失 投資有価証券評価損

# 2018年3月期 上期 業績サマリ

(百万円)	17/3月期 上期		18/3月期 上期			前年同期比		期初予想比
	実績	構成比	期初予想	実績	構成比	増減額	増減率	増減額
<b>売上高</b>	<b>127,741</b>	<b>100.0%</b>	<b>125,000</b>	<b>169,875</b>	<b>100.0%</b>	<b>42,134</b>	<b>33.0%</b>	<b>44,875</b>
デバイス事業	105,536	82.6%	104,500	150,361	88.5%	44,825	42.5%	45,861
システム事業	22,205	17.4%	20,500	19,513	11.5%	△ 2,692	-12.1%	△ 987
<b>売上総利益</b>	<b>8,333</b>	<b>6.5%</b>	<b>9,500</b>	<b>10,272</b>	<b>6.0%</b>	<b>1,939</b>	<b>23.3%</b>	<b>772</b>
販管費	8,768	6.9%	8,700	8,518	5.0%	△ 250	-2.9%	△ 182
人件費	5,464	4.3%	-	5,159	3.0%	△ 305	-5.6%	-
その他	3,304	2.6%	-	3,358	2.0%	54	1.6%	-
<b>営業利益</b>	<b>△ 435</b>	<b>-0.3%</b>	<b>800</b>	<b>1,753</b>	<b>1.0%</b>	<b>2,188</b>	-	953
営業外収益	462	0.4%	250	319	0.2%	△ 143	-31.0%	69
営業外費用	221	0.2%	250	757	0.4%	536	242.5%	507
<b>経常利益</b>	<b>△ 194</b>	<b>-0.2%</b>	<b>800</b>	<b>1,314</b>	<b>0.8%</b>	<b>1,508</b>	-	514
特別利益	0	0.0%	0	0	0.0%	0	-	0
特別損失	17	0.0%	50	211	0.1%	194	1141.2%	161
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>△ 379</b>	<b>-0.3%</b>	<b>400</b>	<b>390</b>	<b>0.2%</b>	<b>769</b>	-	△ 10
<b>期末従業員数 (名)</b>	<b>1,438</b>	-	-	<b>1,408</b>	-	<b>△ 30</b>	<b>-2.1%</b>	-

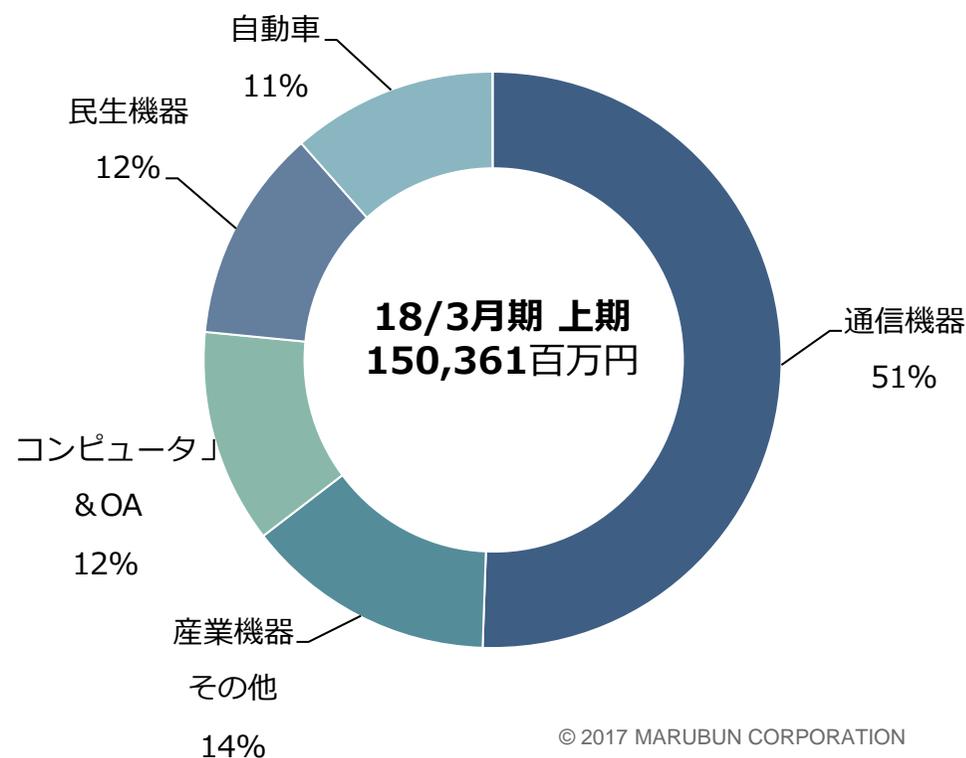
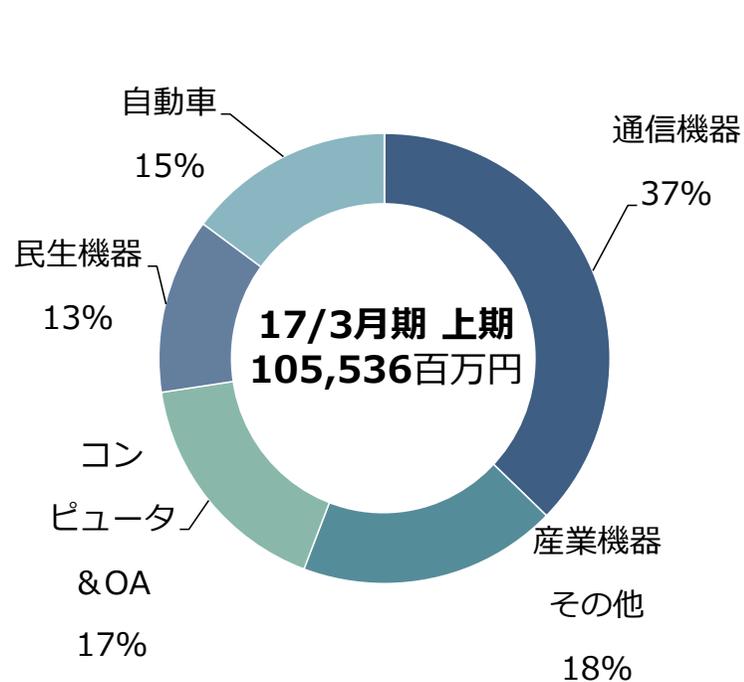
# 2018年3月期 上期 『デバイス事業』 品目別売上高

(百万円)

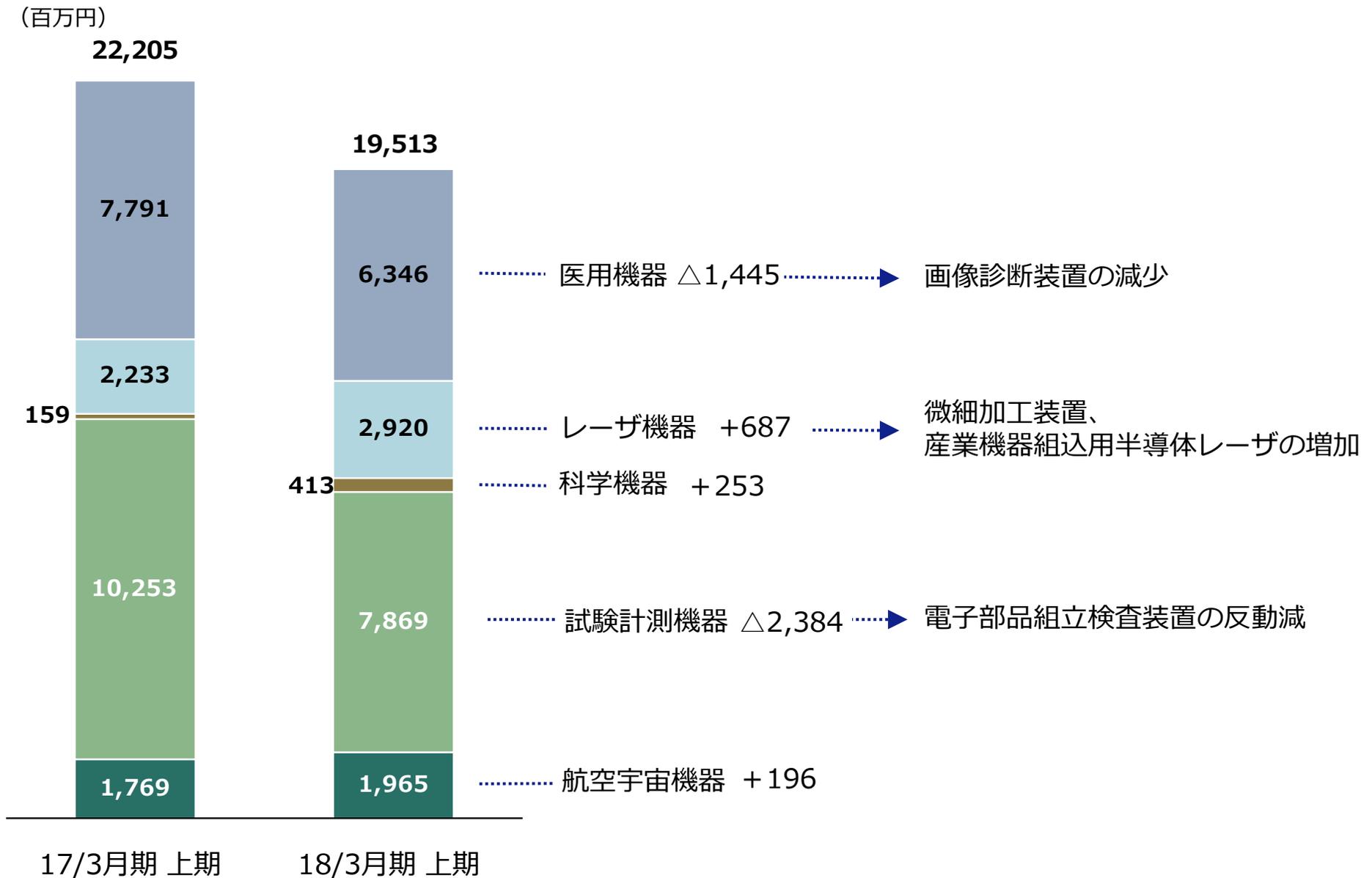


# 2018年3月期 上期 『デバイス事業』 用途別市場動向

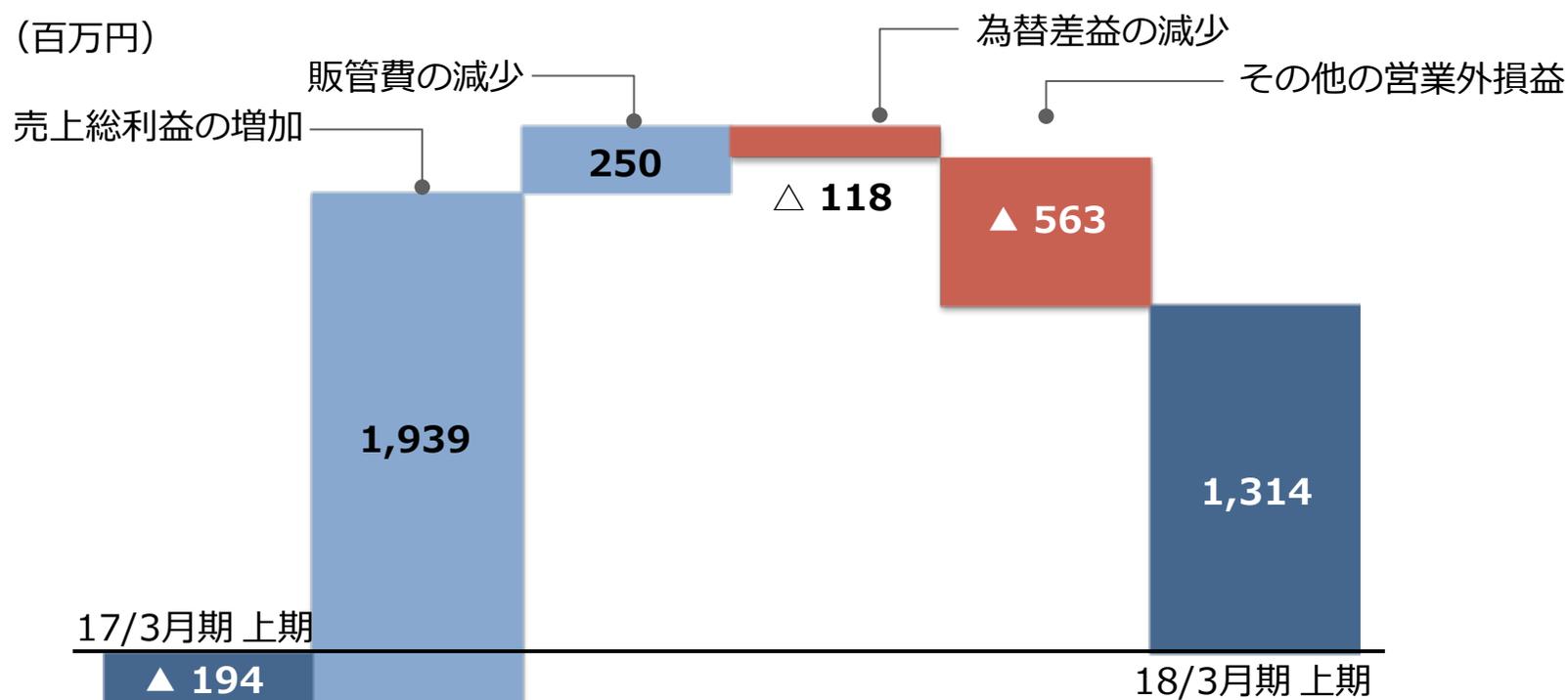
用途	市場動向
通信機器	大幅増加
産業機器その他	FA機器向けが増加
コンピュータ&OA	HDD向けが増加
民生機器	ゲーム機向けが増加
自動車	NXP代理店解消による減少、その他サプライヤは増加



# 2018年3月期 上期 『システム事業』 品目別売上高



# 2018年3月期 上期 経常利益の増減要因



売上総利益	<p><b>売上増による売上総利益の増加</b></p> <p>17/3月期 上期：83億円（利益率6.5%）→18/3月期 上期：102億円（6.0%）</p>
販管費	<p><b>退職給付費用の減少</b></p> <p>17/3月期 上期：87億円 → 18/3月期 上期：85億円</p>
営業外損益	<p><b>為替差益の減少</b></p> <p>17/3月期 上期：差益1.2億円 → 18/3月期 上期：差益6百万円</p> <p><b>支払利息の増加</b> 17/3月期 上期：1.2億円 → 18/3月期 上期：2.8億円</p> <p><b>貸倒引当繰入</b> 17/3月期 上期：無し → 18/3月期 上期：3.6億円</p>

## 2018年3月期 上期 貸借対照表の概要

(百万円)	17/3月期末 実績	18/3月期 上期末 実績	前期末比 増減額	主な増減理由	
<b>資産合計</b>	<b>125,984</b>	<b>144,773</b>	<b>18,789</b>	現金及び預金	3,256
流動資産	113,711	132,509	18,798	受取手形及び売掛金	12,930
固定資産	12,273	12,263	△ 10	商品及び製品	3,709
<b>負債合計</b>	<b>78,434</b>	<b>97,367</b>	<b>18,933</b>	支払手形及び買掛金	2,184
流動負債	67,272	86,334	19,062	短期借入金	17,495
固定負債	11,161	11,032	△ 129		
<b>純資産合計</b>	<b>47,550</b>	<b>47,406</b>	<b>△ 144</b>	株主資本	27
				その他の包括利益累計額	△ 135
				非支配株主持分	△ 36

# 2018年3月期 上期 キャッシュフロー計算書の概要

(百万円)	17/3月期 上期 実績	18/3月期 上期 実績	内訳	
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 6,505	△ 12,672	税金等調整前純利益	1,104
			売上債権の増加	△ 13,240
			たな卸資産の増加	△ 4,000
			仕入債務の増加	2,340
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 607	△ 557	有形固定資産の取得による支出	△ 118
			無形固定資産の取得による支出	△ 386
フリー・キャッシュ・フロー	△ 7,112	△ 13,229		
財務活動による キャッシュ・フロー	5,143	16,564	短期借入金の純増	17,158
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,072	3,316		
現金及び現金同等物の期末残高	10,629	15,489		

# 中期経営計画 事業戦略と重点施策

---

## 半導体メーカーの動向

M&Aによる  
勢力地図の塗り替わり

## 国内メーカーの動向

自動車や産業機器関連 **業績堅調**

民生機器やコンピュータ **市場縮小**

**当社の強み・特長を活かした事業拡大を目指す**

# 2016-2018年度 中期経営計画方針

## 3つの基本方針

業界再編の  
キャッチアップ

イノベーションへの  
積極投資による  
新規事業創造

資本効率の向上

## 経営指標

ROE 8%以上達成

# 『デバイス事業』 4つの取り組み

## デバイス事業

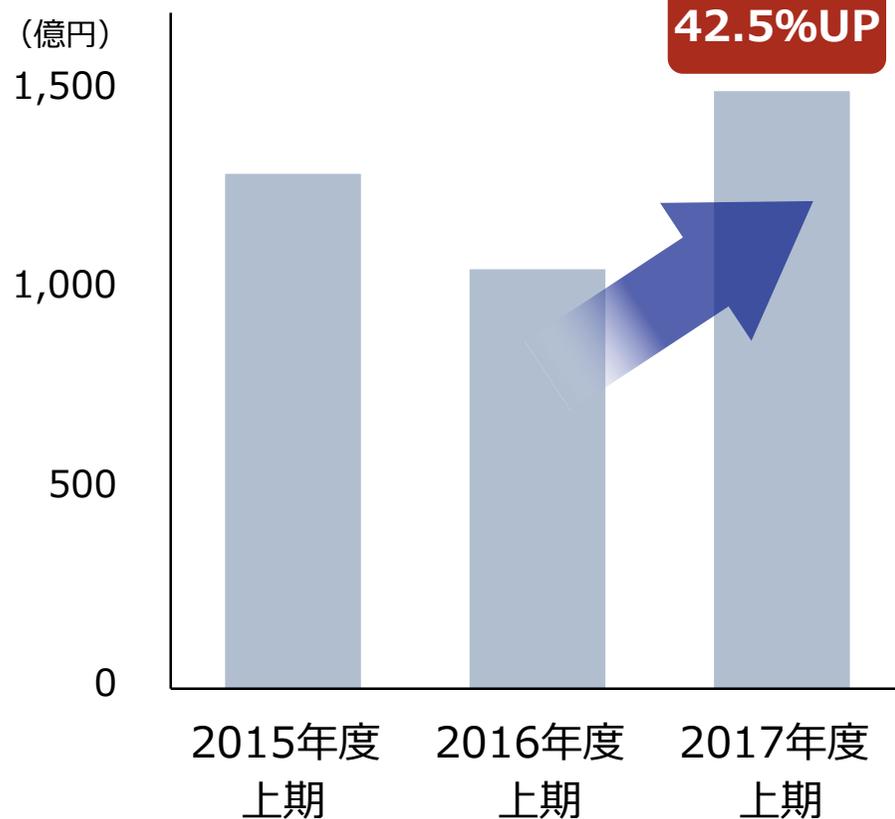
- ① ベースビジネスの強化
- ② 成長市場での事業強化
- ③ 新規商材の事業化推進
- ④ グローバル展開の加速

# 『デバイス事業』 上期の概況

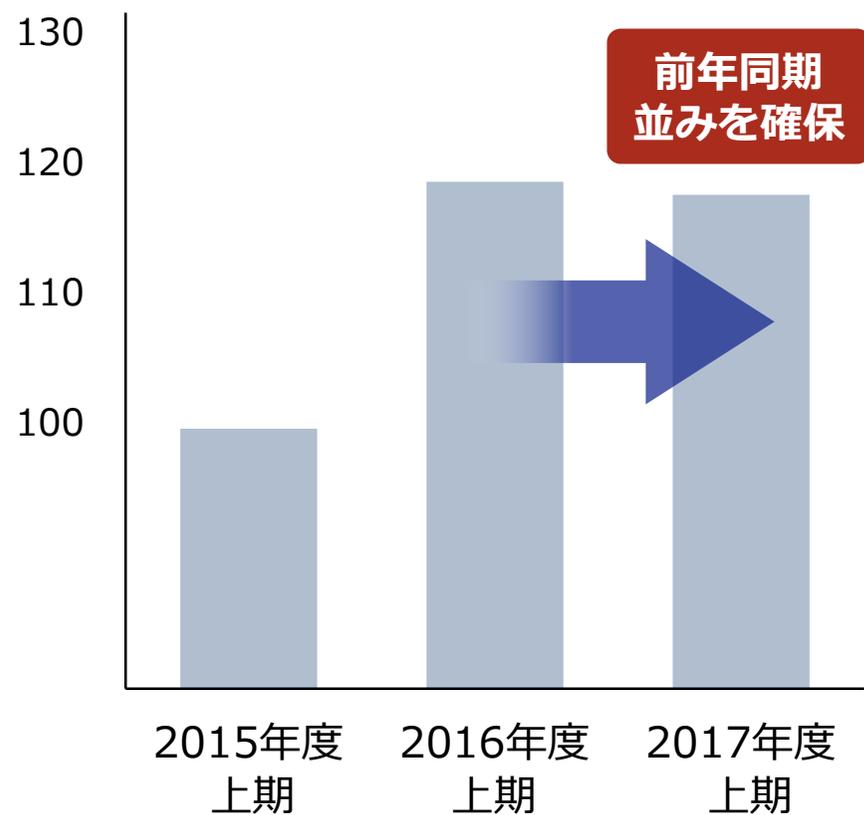
## ■ 売上は大幅増加、新規案件発掘数も前年並みを確保

■ 今年2月末にNXP社との代理店契約を解消したが他ビジネスが伸長

### デバイス事業の売上推移

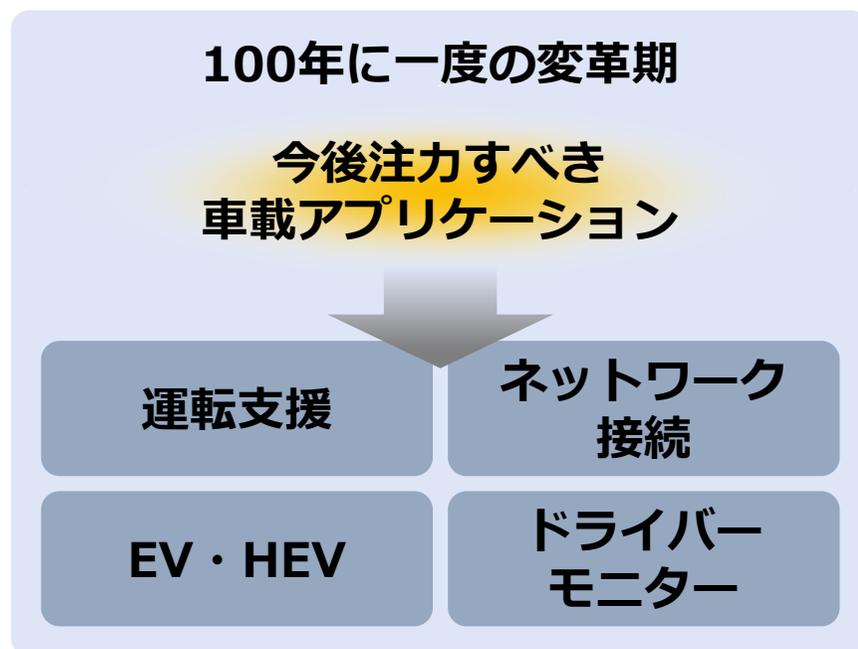


### 新規案件発掘数の伸び (2015年度上期を100とした推移)

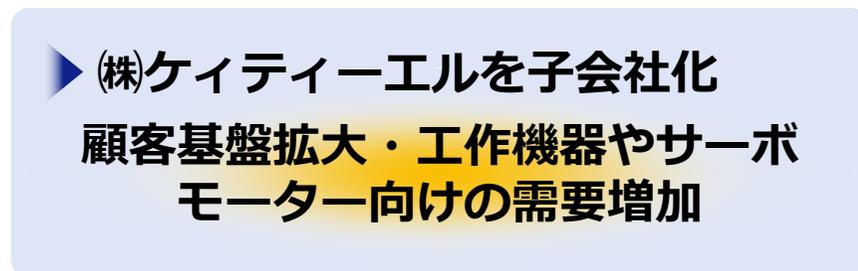


# ① ベースビジネスの強化

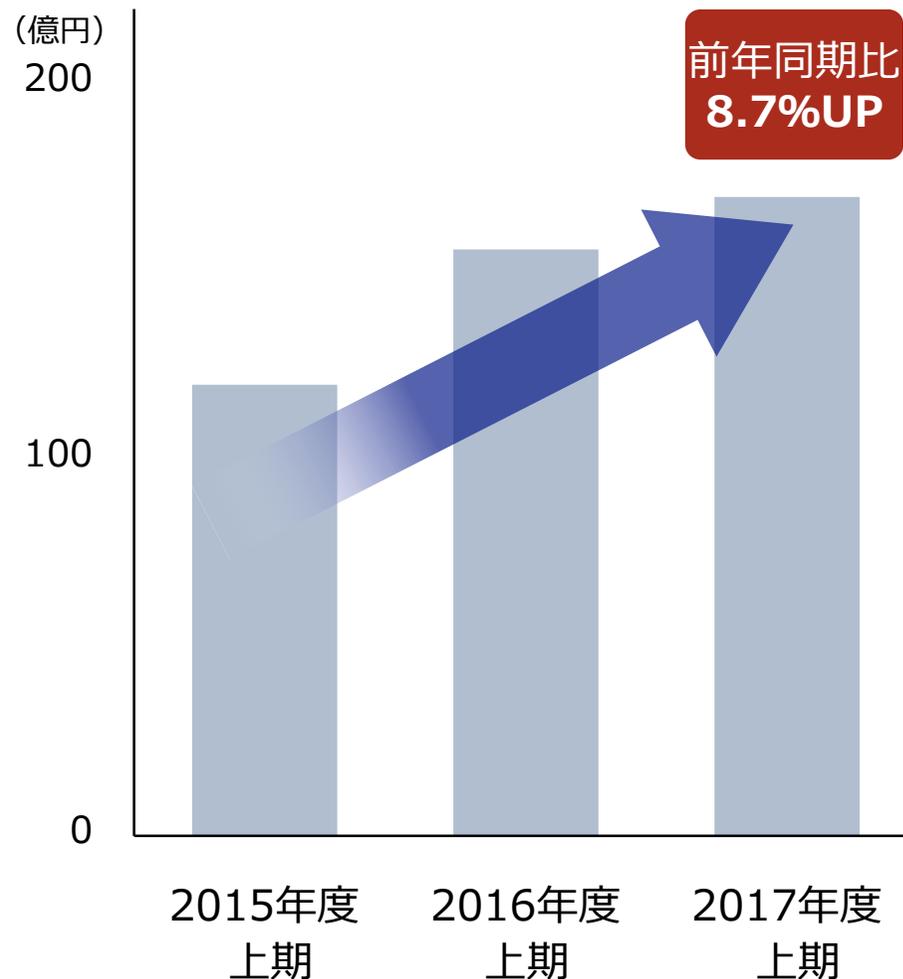
## 自動車市場



## 産業機器市場



自動車市場向け売上高の推移



## ② 成長市場での事業強化

### IoT ビジネスの強化

Afero社

IoT  
プラットフォーム



MC10社

バイオセンサー



 丸文株式会社

オリジナルセンサーモジュール・マイコン・無線通信技術

ソリューションの提案

新たな市場を開拓

### ③ 新規商材の事業化推進

## 次世代・最先端のテクノロジーに着目

#### FINsix社

- PC向け小型電源アダプタ「Dart」の販売を国内で開始



#### Cypress社

- IoT向け無線製品の売上が伸長
- 他商材も拡販し、ビジネスを拡大

#### Eink社

- 家電見本市 CEATECで紹介
  - 電子コミック「北斗の拳」
- 電子楽譜などにも採用、用途が広がる

## ④ グローバル展開の加速

### 欧州

ハンガリー・ブダペストに  
丸文アローヨーロッパを開設

さらにユーロ圏での拠点拡充

EU各国の現地ニーズに対応

丸文アロー  
ヨーロッパ

### アジア・北米

自動車向けが牽引

顧客の日本本社との  
関係強化

着実な成長を見込む

# 『システム事業』の取り組み



**顧客の深耕・拡大  
収益性の向上**

# 『システム事業』 分野別の取り組み

## レーザー機器

- オリジナルシステムの製造・販売
  - 微細加工装置や焼き入れ装置など
- 民生機器や自動車向けで需要拡大



フォーサイトテクノ社  
微細加工装置

## 情報通信機器

- 通信インフラ市場に販売を推進
  - タイムサーバやGPSシミュレータなどの機器販売
- コンサルテーション業務を本格的に開始
  - 大手キャリアに5Gのインフラ構築を支援



Spirent社  
GPSシミュレータ

# 『システム事業』 分野別の取り組み

## 航空宇宙機器

- 高信頼性部品の受注促進
- 商品ラインアップの拡充
  - 人工衛星用の太陽電池パネルの販売

## 医用機器

- 池田医療電機を丸文通商に合併
  - 一体運営による営業力強化
- 取り扱い製品を拡充
- 保守・メンテナンス機能の強化



# 2018年3月期 業績予想の概要

---

# 2018年3月期 業績予想サマリ

## ■売上高 3,260億円（前期比 553億円増、期初予想比 660億円増）

- デバイス事業 通信機器、産業機器、ゲーム機向けの増加
- システム事業 レーザ機器、航空宇宙機器の増加、医用機器の減少

## ■営業利益 45億円（前期比 16億円増、期初予想比 10億円増）

- 売上総利益 売上増加による増加。売上総利益率は低下
- 販管費 退職給付費用の減少

## ■経常利益 40億円（前期比 13億円増、期初予想比 7億円増）

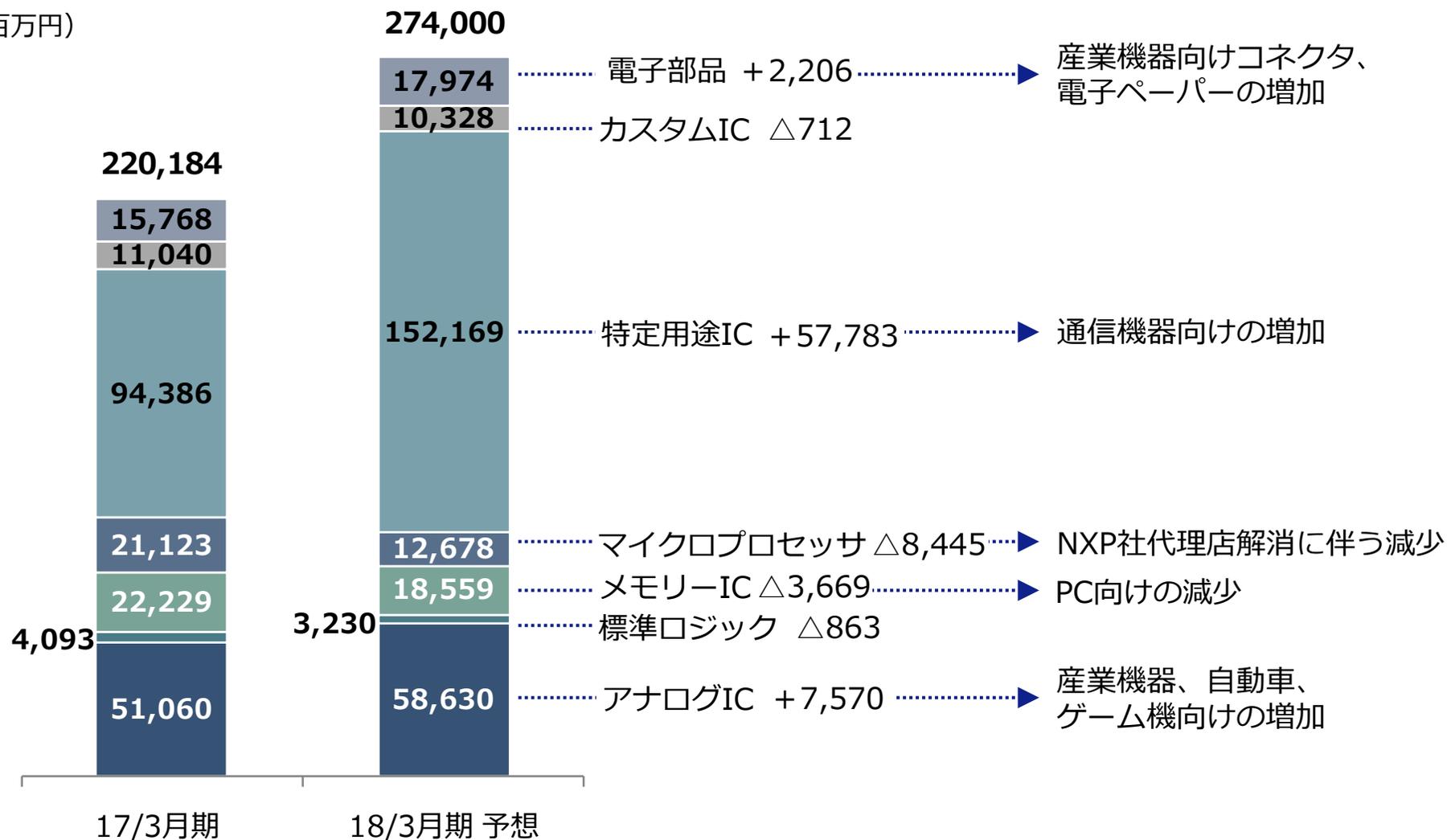
## ■当期純利益 20億円（前期比 4億円増、期初予想比 2増）

# 2018年3月期 業績予想サマリ

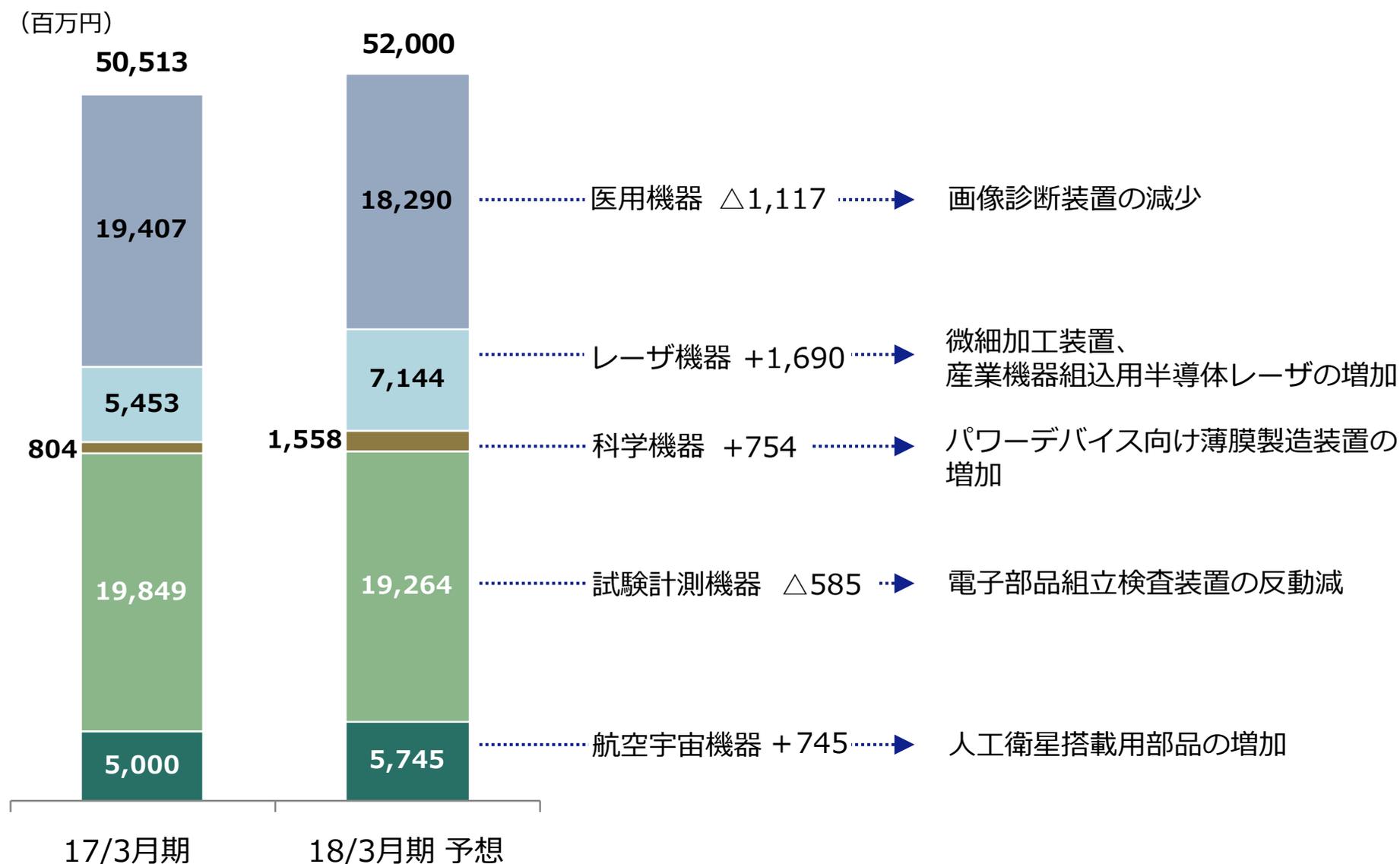
(百万円)	17/3月期		18/3月期			前期比		期初予想比
	実績	構成比	期初予想	修正予想	構成比	増減額	増減率	増減額
<b>売上高</b>	<b>270,698</b>	<b>100.0%</b>	<b>260,000</b>	<b>326,000</b>	<b>100.0%</b>	<b>55,302</b>	<b>20.4%</b>	<b>66,000</b>
デバイス事業	220,184	81.3%	210,000	274,000	84.0%	53,816	24.4%	64,000
システム事業	50,513	18.7%	50,000	52,000	16.0%	1,487	2.9%	2,000
<b>売上総利益</b>	<b>20,612</b>	<b>7.6%</b>	<b>21,000</b>	<b>21,900</b>	<b>6.7%</b>	<b>1,288</b>	<b>6.2%</b>	<b>900</b>
販管費	17,729	6.5%	17,500	17,400	5.3%	△ 329	-1.9%	△ 100
<b>営業利益</b>	<b>2,883</b>	<b>1.1%</b>	<b>3,500</b>	<b>4,500</b>	<b>1.4%</b>	<b>1,617</b>	<b>56.1%</b>	<b>1,000</b>
営業外収益	705	0.3%	450	700	0.2%	△ 5	-0.7%	250
営業外費用	937	0.3%	650	1,200	0.4%	263	28.1%	550
<b>経常利益</b>	<b>2,651</b>	<b>1.0%</b>	<b>3,300</b>	<b>4,000</b>	<b>1.2%</b>	<b>1,349</b>	<b>50.9%</b>	<b>700</b>
特別利益	1	0.0%	0	0	0.0%	△ 1	-	0
特別損失	65	0.0%	50	250	0.1%	185	284.6%	200
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	<b>1,650</b>	<b>0.6%</b>	<b>1,850</b>	<b>2,050</b>	<b>0.6%</b>	<b>400</b>	<b>24.2%</b>	<b>200</b>

# 2018年3月期 『デバイス事業』 品目別売上高予想

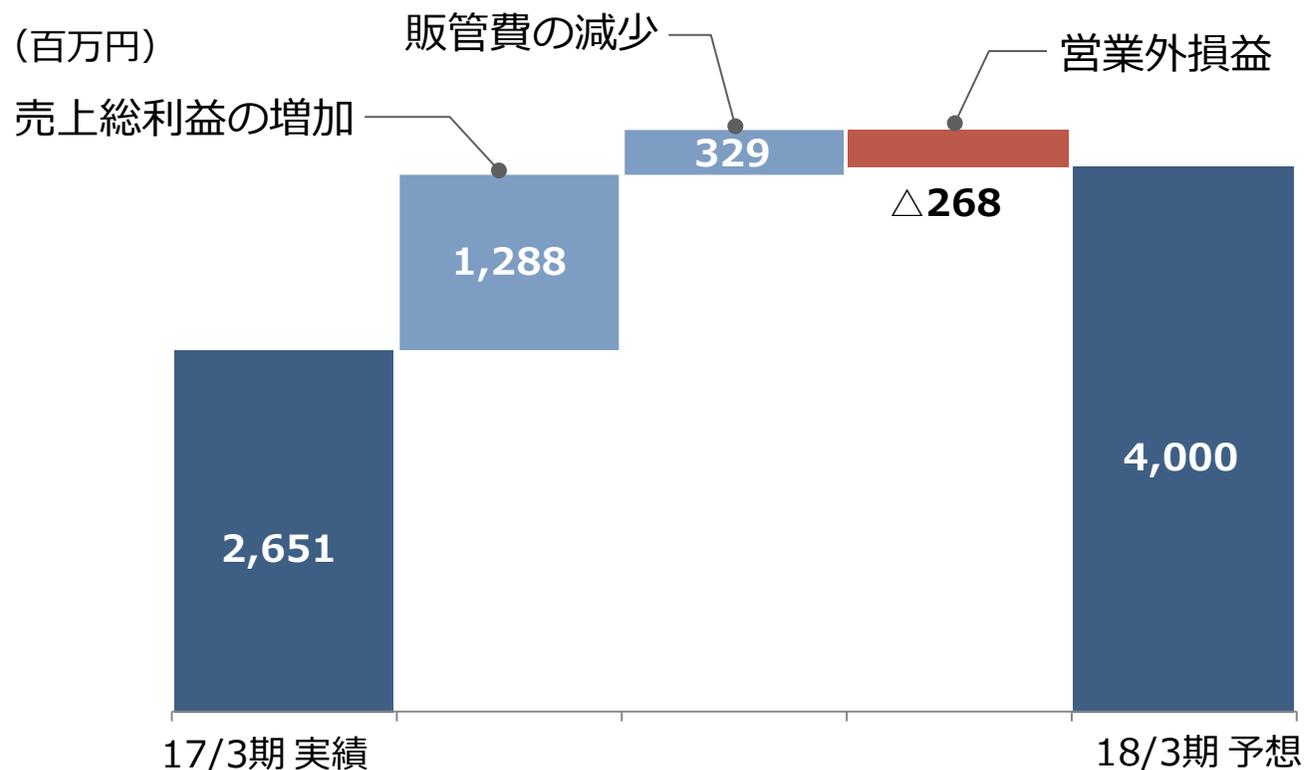
(百万円)



# 2018年3月期 『システム事業』 品目別売上高予想



# 経常利益の増減要因（前期 vs. 予想）



売上総利益	<b>売上増加による総利益の増加</b> 17/3月期：206億円(利益率7.6%) → 18/3月期予想：219億円(6.7%)
販管費	<b>退職給付費用の減少</b> 17/3月期：177億円 → 18/3月期予想：174億円
営業外損益	<b>貸倒引当繰入</b> 17/3月期：無し → 18/3月期予想：3.6億円

# 株主還元

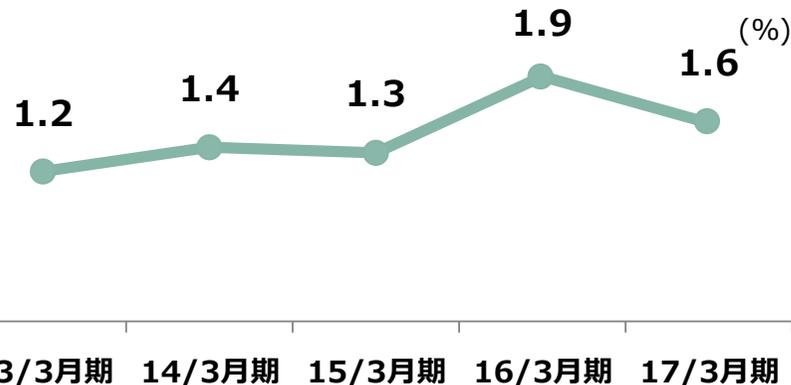
---

# 株主還元

## ■ 配当方針

配当性向 連結 30% 以上

## ■ DOE(株主資本配当率)の推移



## ■ 配当予想

■ 70周年記念配当を予定（10/31日公表）

(円)	17/3月期	18/3月期 (予想)
1株当たり年間配当金	25.00	30.00
中間配当	10.00	10.00
期末配当	15.00	20.00 (普通配当 15.00) (記念配当 5.00)

# 参考情報

---

# 企業概況

## 会社概要

創業	1844年（弘化元年）
設立	1947年（昭和22年）7月
所在地	東京都中央区日本橋大伝馬町8番1号
資本金	62億1,450万円
決算期日	3月31日
代表者	代表取締役社長 水野象司
売上高	連結 2,706億円（2017年3月期） 単体 1,594億円（2017年3月期）
従業員数	連結 1,397名（2017年3月末） 単体 671名（2017年3月末）
株式上場	東京証券取引所 市場第一部（コード:7537）

## 事業領域

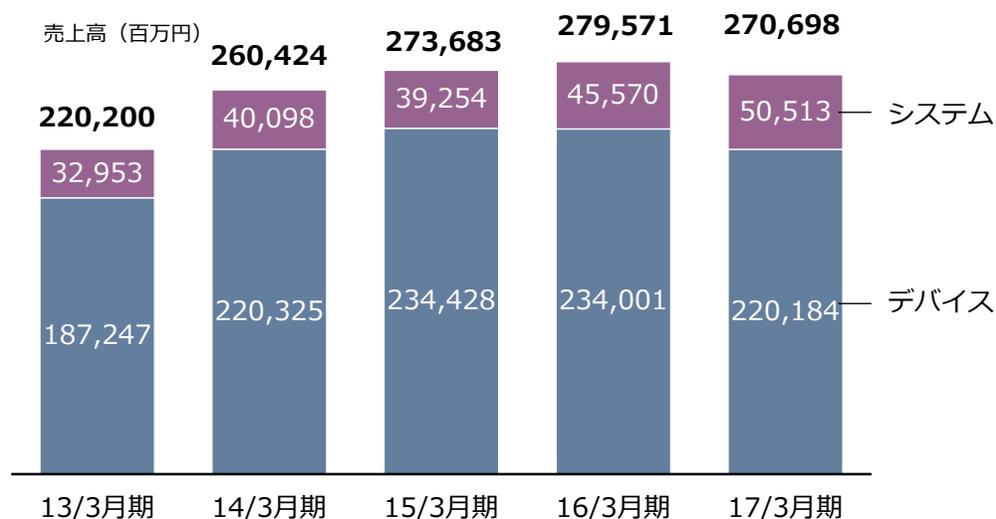
### デバイス事業

- 半導体
- 電子部品

### システム事業

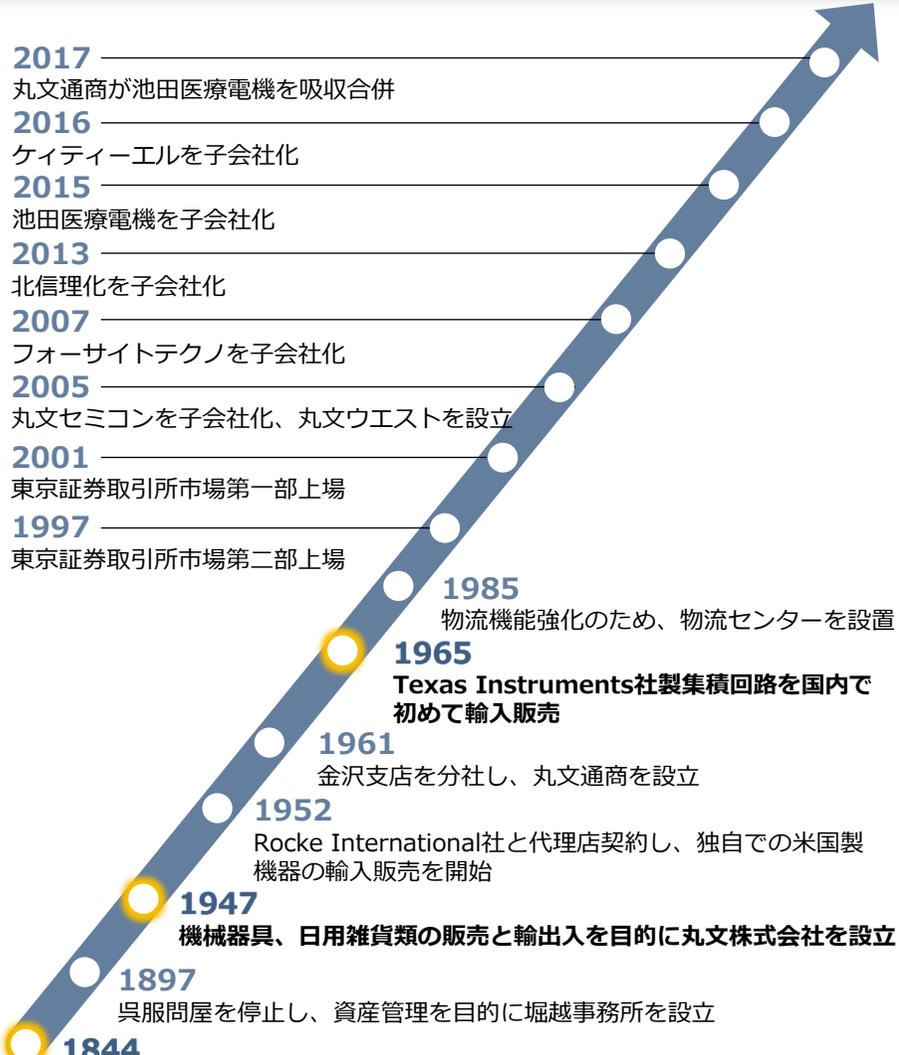
- 航空宇宙機器
- 試験計測機器
- 科学機器
- レーザ機器
- 医用機器

## 連結売上高の推移

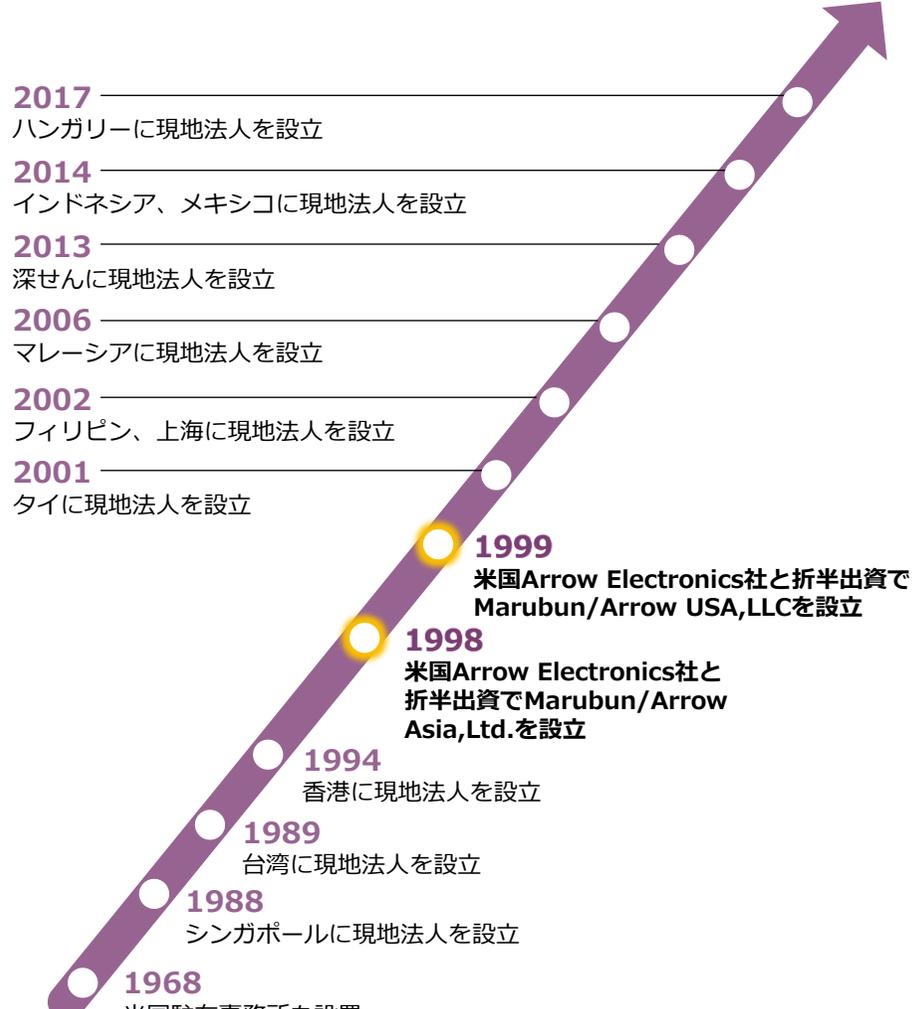


# 沿革

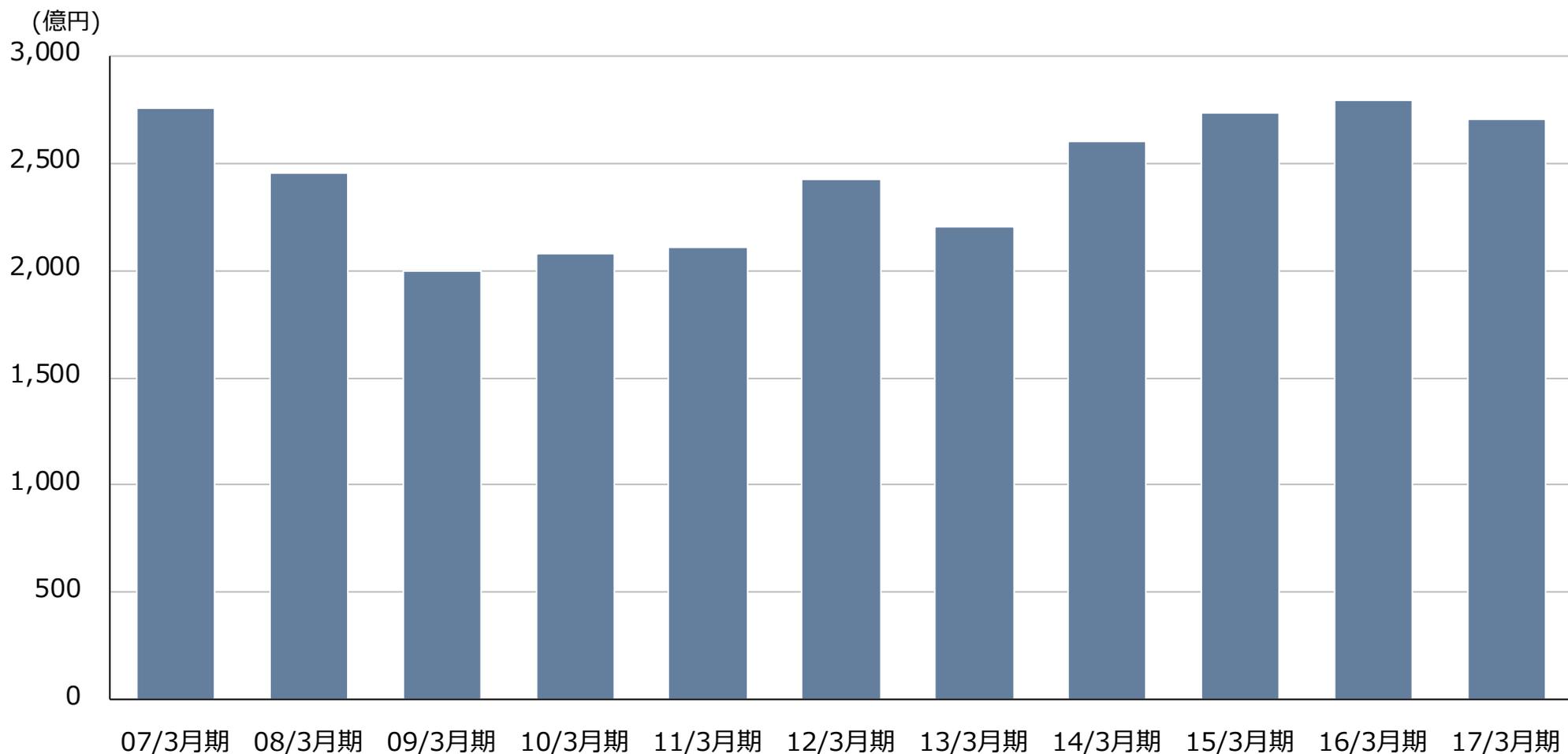
## 国内

- 
- 2017 丸文通商が池田医療電機を吸収合併
  - 2016 ケイティーエルを子会社化
  - 2015 池田医療電機を子会社化
  - 2013 北信理化を子会社化
  - 2007 フォーサイトテクノを子会社化
  - 2005 丸文セミコンを子会社化、丸文ウエストを設立
  - 2001 東京証券取引所市場第一部上場
  - 1997 東京証券取引所市場第二部上場
  - 1985 物流機能強化のため、物流センターを設置
  - 1965 Texas Instruments社製集積回路を国内で初めて輸入販売
  - 1961 金沢支店を分社し、丸文通商を設立
  - 1952 Roche International社と代理店契約し、独自の米国製機器の輸入販売を開始
  - 1947 機械器具、日用雑貨類の販売と輸出入を目的に丸文株式会社を設立
  - 1897 呉服問屋を停止し、資産管理を目的に堀越事務所を設立
  - 1844 現本社所在地で呉服問屋「堀越」（屋号「丸文」）を創業

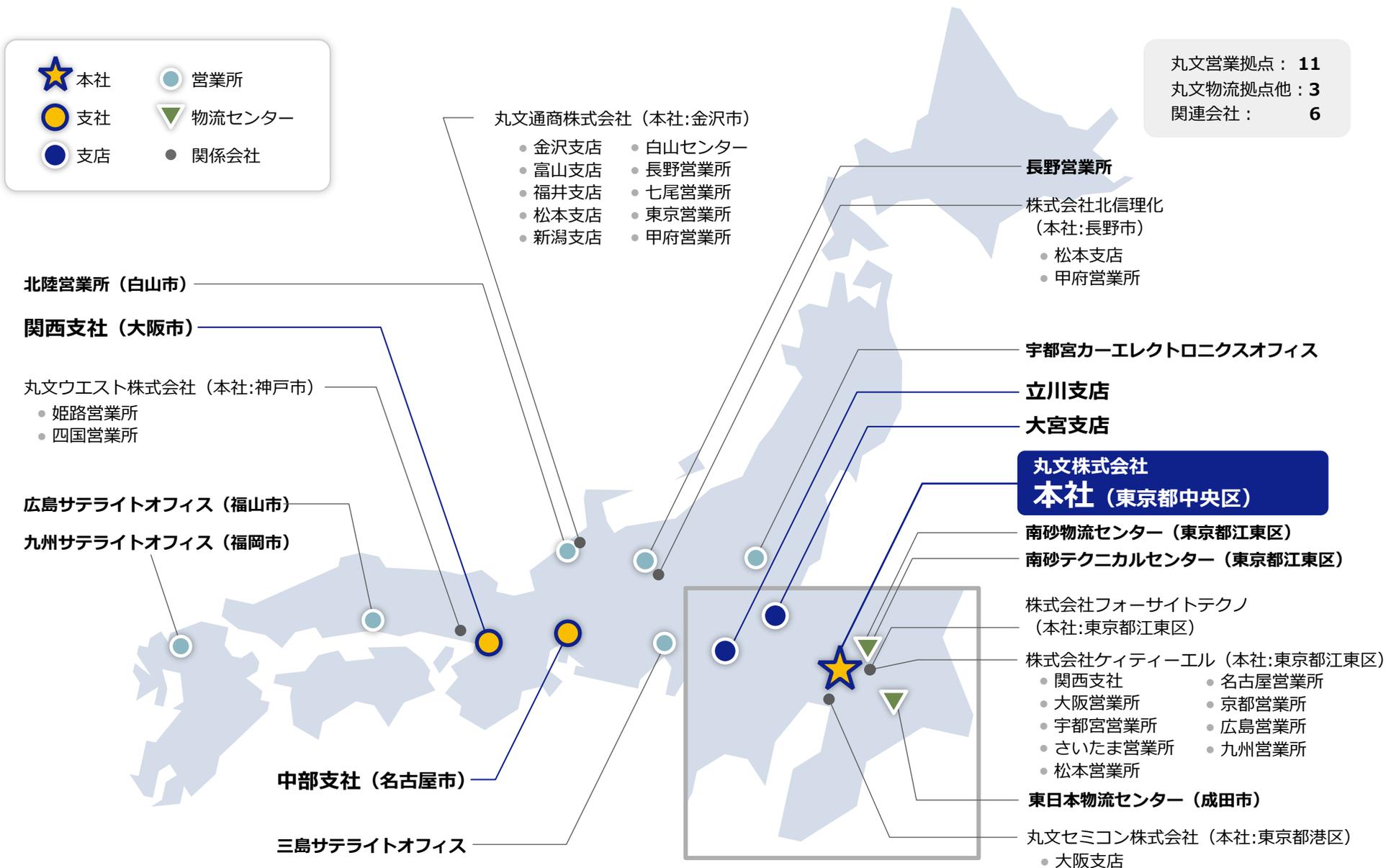
## 海外

- 
- 2017 ハンガリーに現地法人を設立
  - 2014 インドネシア、メキシコに現地法人を設立
  - 2013 深せんに現地法人を設立
  - 2006 マレーシアに現地法人を設立
  - 2002 フィリピン、上海に現地法人を設立
  - 2001 タイに現地法人を設立
  - 1999 米国Arrow Electronics社と折半出資でMarubun/Arrow USA,LLCを設立
  - 1998 米国Arrow Electronics社と折半出資でMarubun/Arrow Asia,Ltd.を設立
  - 1994 香港に現地法人を設立
  - 1989 台湾に現地法人を設立
  - 1988 シンガポールに現地法人を設立
  - 1968 米国駐在事務所を設置

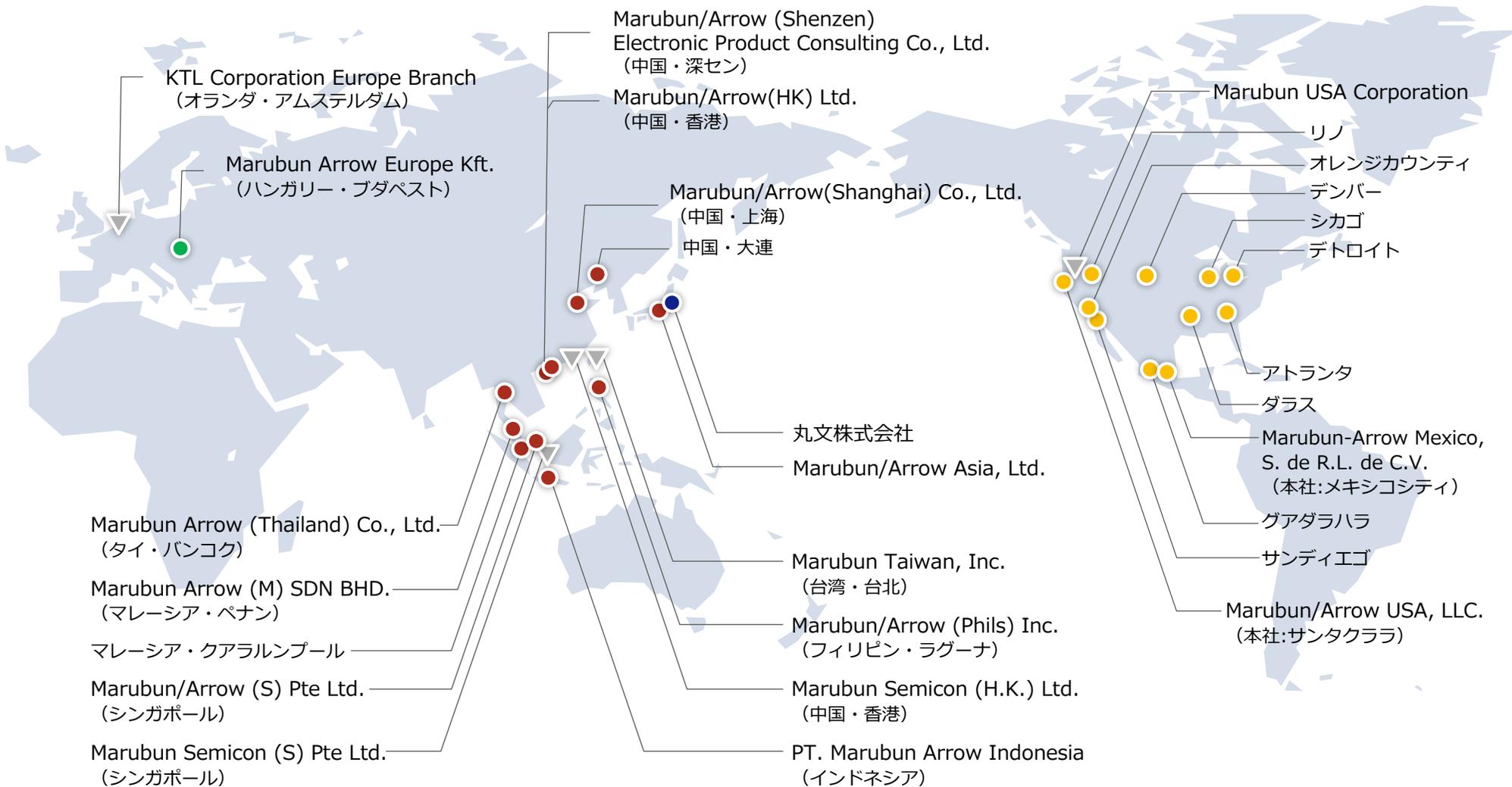
# 中長期売上トレンド



# 国内拠点



# グローバルネットワーク



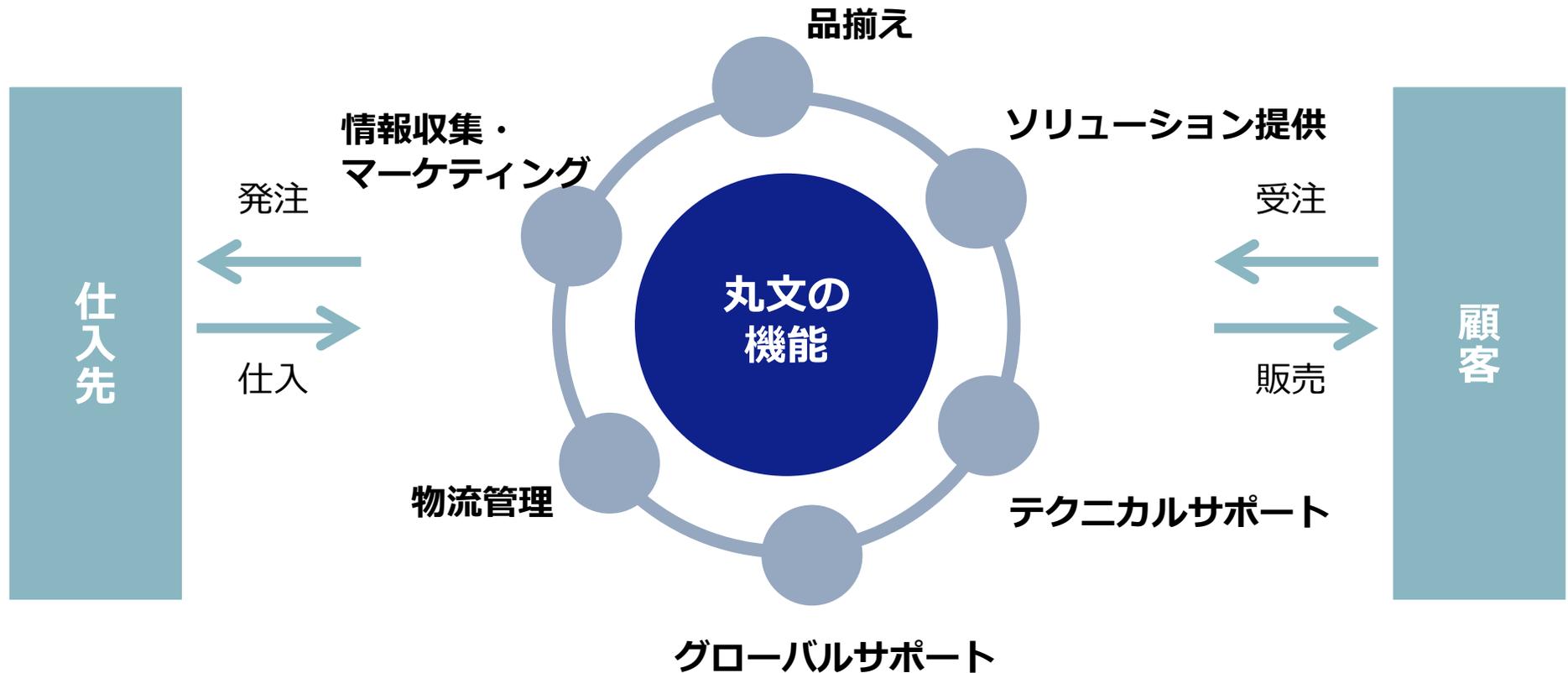
● 丸文株式会社 ● Marubun/Arrow Asia, Ltd. ● Marubun/Arrow USA, LLC. ● Marubun Arrow Europe Kft. ▽ その他

アジア拠点 : 14  
 北米拠点 : 12  
 欧州拠点 : 2

(2017年11月現在)

# デバイス事業：特徴と強み

- 海外サプライヤを中心とした豊富な品揃え
- 米国アロー社(90ヶ国、465拠点)との提携によるグローバルネットワーク
- 高度な技術力をもとにしたソリューション提案力
- 強固な顧客基盤



# デバイス事業：グループ会社概要

社名	住所	設立年月	出費比率	事業内容
丸文セミコン株式会社	東京都港区	2005年3月	100.0%	サムスン電子製半導体・電子部品の仕入販売
Marubun Semicon (H.K.) Ltd.	Hong Kong, China	2010年1月	100.0%	
Marubun Semicon (S) Pte. Ltd.	Alexandra Road, Singapore	2013年11月	100.0%	
Marubun USA Corporation	California, U.S.A.	1983年10月	100.0%	丸文アローUSAの持株会社
Marubun Taiwan, Inc.	Taipei, Taiwan	1989年11月	100.0%	台湾製デバイスの仕入販売
Marubun/Arrow Asia, Ltd.	British Virgin Islands	1998年10月	50.0%	丸文アローシンガポール、丸文アロー香港の持株会社
Marubun/Arrow (S) Pte Ltd.	Anson Road, Singapore	1988年3月	50.0%	海外進出した日系企業への半導体・電子部品の仕入販売
Marubun/Arrow (HK) Ltd.	Hong Kong, China	1994年8月	50.0%	
Marubun Arrow (Thailand) Co., Ltd.	Bangkok, Thailand	2000年10月	50.0%	
Marubun/Arrow (Phils), Inc.	Laguna, Philippines	2001年10月	50.0%	
Marubun Arrow (M) SDN BHD	Penang, Malaysia	2006年6月	50.0%	
Marubun/Arrow (Shanghai) Co., Ltd.	Shanghai, China	2002年9月	50.0%	
Marubun/Arrow (Shenzhen) Electronic Product Consulting Co.,Ltd.	Shenzhen, China	2013年6月	50.0%	
PT. Marubun Arrow Indonesia	Jakarta, Indonesia	2014年4月	50.0%	
Marubun/Arrow USA, LLC*	Delaware, U.S.A.	1998年11月	50.0%	
Marubun-Arrow Mexico, S. de R.L. de C.V.*	MexicoCity, MEXICO	2014年9月	50.0%	
Marubun Arrow Europe Kft.*	Budapest, Hungary	2017年11月	50.0%	
株式会社ケイティーエル	東京都江東区	1966年11月	100.0%	半導体・電子部品の仕入販売

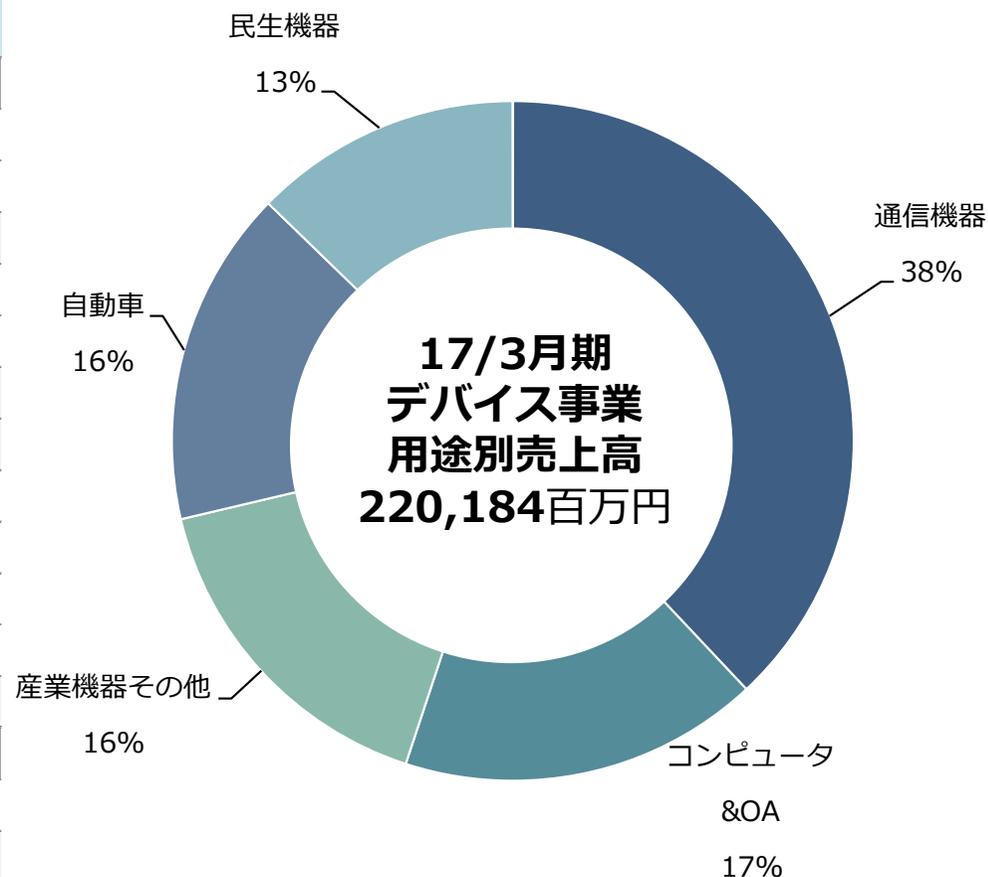
\* Marubun/Arrow USA、Marubun-Arrow Mexico、Marubun Arrow Europe Kft.は持分法適用の関連会社です。

# デバイス事業：取扱製品（サプライヤ別）

		サプライヤ（アルファベット順）															
		旭化成 エレクトロニクス	Broadcom (米国)	Cypress (米国)	Eink (台湾)	FINsix (米国)	IDT (米国)	Littlefuse (米国)	Maxim (米国)	Molex (米国)	Qorvo (米国)	Samsung (韓国)	SanDisk (米国)	セイコー エプソン	セイコー インスツル	TexasInstruments (米国)	
半 導 体	アナログIC	●	●					●	●		●				●	●	
	標準ロジックIC															●	
	メモリーIC	DRAM										●					
		フラッシュ										●	●				
		その他メモリー						●				●	●		●		
	マイクロ プロセッサ	MPU、MCU												●			●
		DSP	●														●
	特定用途IC	ASSP	●	●	●			●		●		●		●		●	●
		ディスプレイドライバ										●		●		●	●
		DMD															●
		LED										●					
カスタムIC	●									●		●					
電 子 部 品	表示デバイス				●						●						
	水晶デバイス						●						●	●			
	コネクタ・スイッチ・プリント基板								●								
	モジュール製品					●											

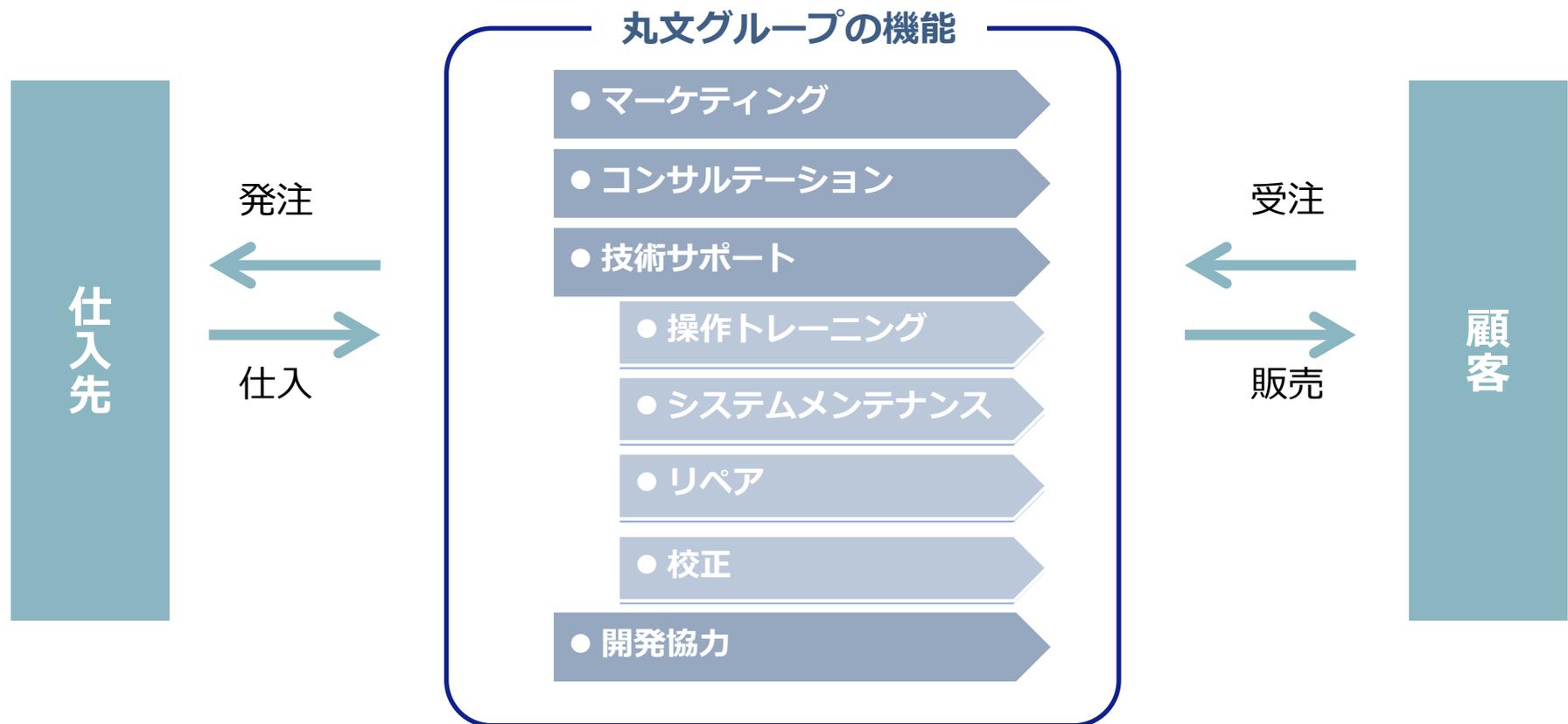
# デバイス事業：主要取扱い製品（用途別）

		通信機器	コンピュータ	産業機器	自動車	民生機器
<b>半導体</b>						
アナログIC	アナログ	●	●	●	●	●
	ディスクリート	●		●	●	●
標準ロジックIC		●	●	●	●	●
メモリーIC	DRAM	●	●		●	●
	フラッシュ	●	●			●
マイクロプロセッサ	MPU、MCU	●	●	●	●	●
	DSP	●		●	●	●
特定用途IC	ASSP	●			●	●
	ディスプレイドライバ	●	●		●	●
	DMD	●	●	●	●	●
	LED	●	●			●
カスタムIC		●	●		●	●
<b>電子部品</b>						
表示デバイス		●	●	●	●	●
水晶デバイス		●		●	●	●
コネクタ・スイッチ・プリント基板		●				●
モジュール製品			●		●	●



# システム事業：特徴と強み

- ハイエンド市場で、技術優位性の高い電子機器・部品を提供
- システム提案から据え付け保守まで、一貫した高レベルの技術サポート

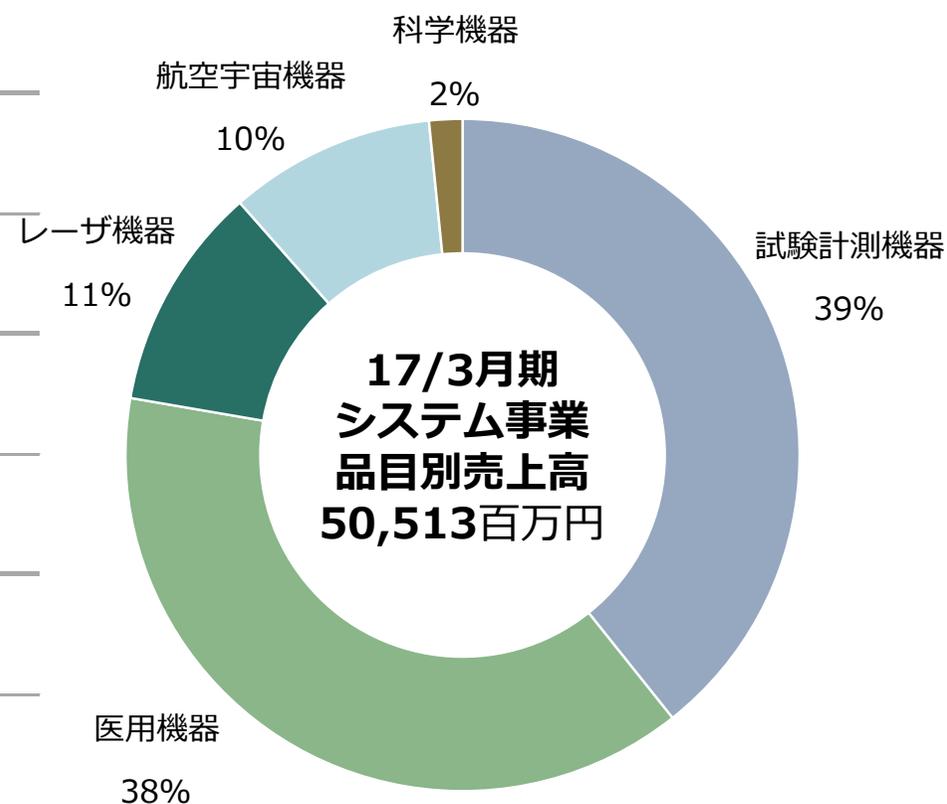


# システム事業：グループ会社概要

社名	本社	設立年月	出費比率	事業内容
丸文通商株式会社	石川県金沢市	1961年3月	100.0%	医用機器および試験計測機器の仕入販売・修理・メンテナンス
丸文ウエスト株式会社	兵庫県神戸市	2005年5月	100.0%	試験計測機器の仕入販売
株式会社北信理化	長野県長野市	1951年11月	100.0%	試験計測機器の仕入販売
株式会社フォーサイトテクノ	東京都江東区	1999年3月	51.0%	システム製品の修理・メンテナンス、エンジニアリングサービス

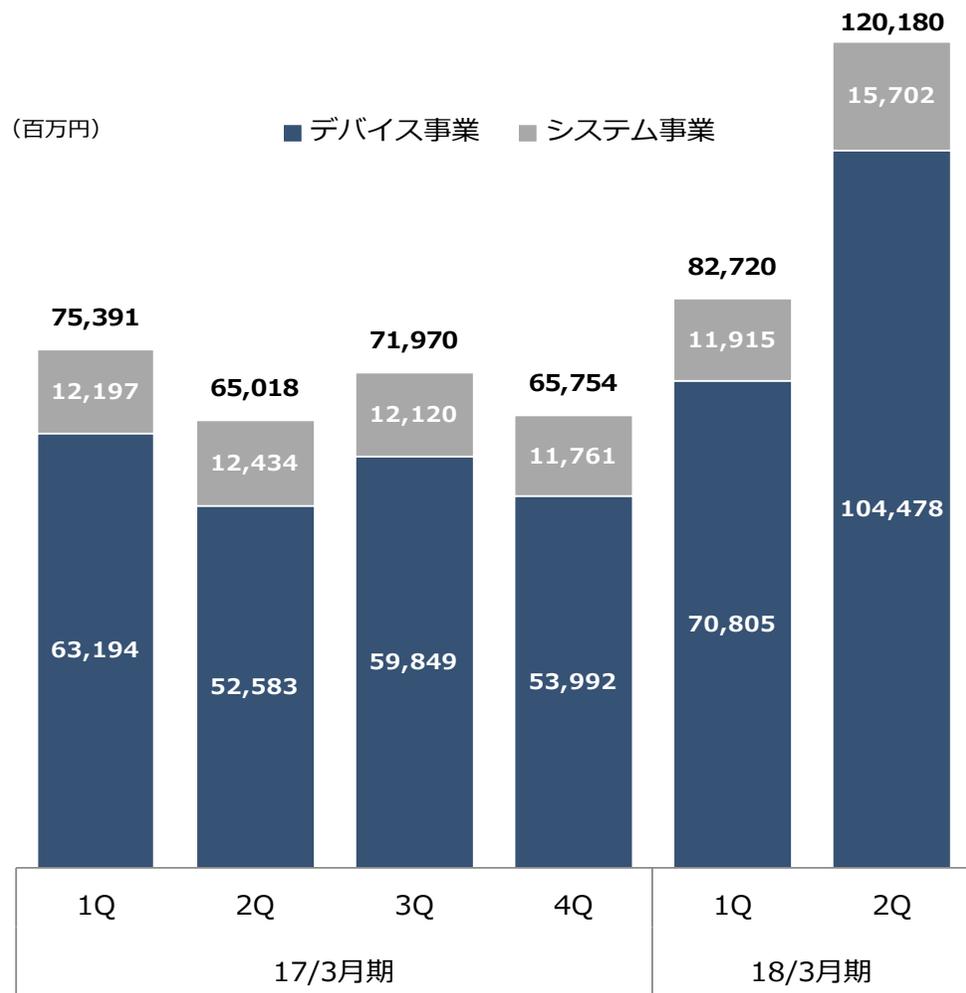
# システム事業：主要取扱い製品

分野	主要取扱商品	主要仕入先
試験計測機器	検査・計測機器 組み込みコンピュータ	アキム、島津製作所、 ADLINK、AITECH
	製造装置 組立装置	セイコーエプソン、 日本アビオニクス
医用機器	画像診断機器	シーメンス、島津製作所、 コニカミノルタヘルスケア
	人工透析機器	日機装、旭化成メディカル、 カネカメディックス
レーザー機器	半導体レーザー レーザー加工機	nLight、Laserline
	ネットワーク機器 光学部品	Microsemi、Calnex Solutions、 Excelitas Technologies
航空宇宙機器	高信頼性部品 計測・センサ	Tele Communication Systems、 Plascore、Lavision
	航空関連機器 高周波電子機器	CPI、L3 Communications
科学機器	MOCVD装置 MBE装置	AIXTRON、Riber

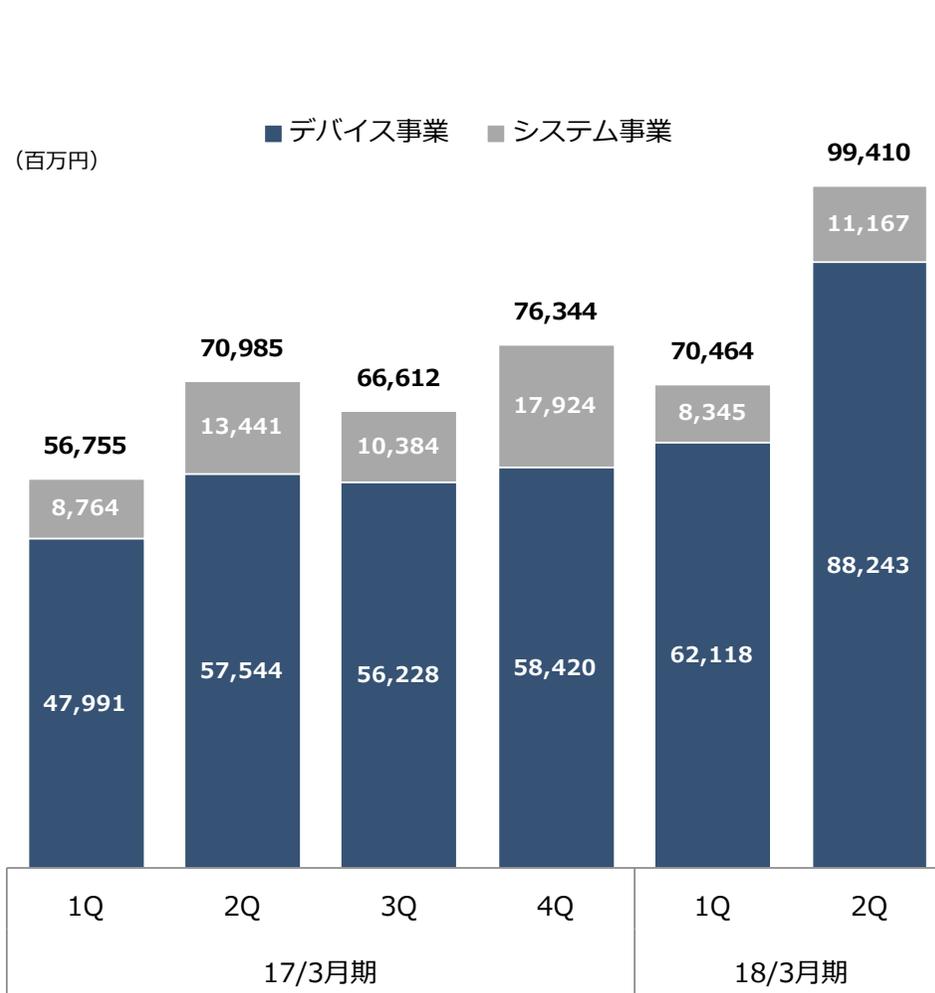


# 業績四半期推移（事業別受注高・事業別売上高）

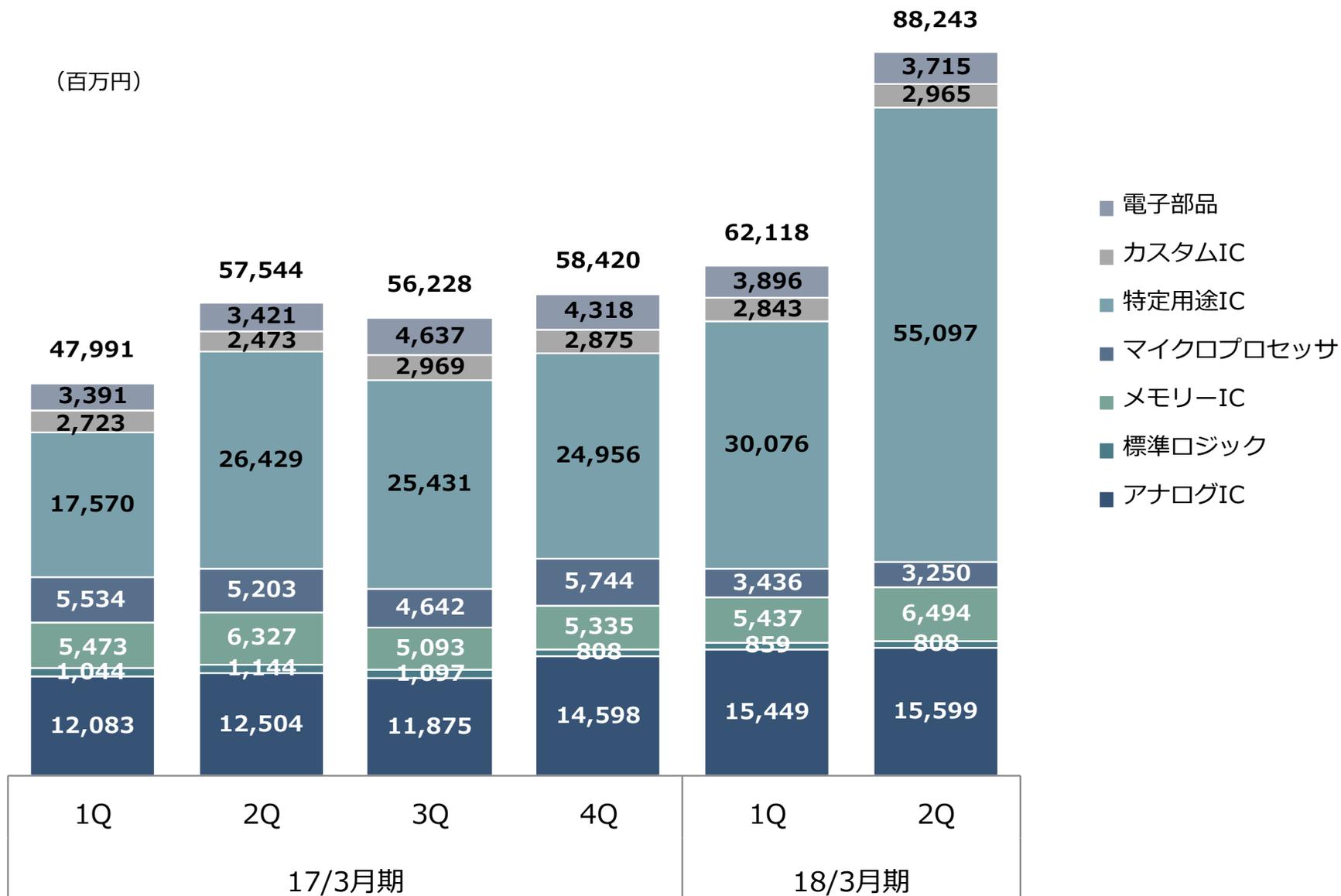
## 事業別受注高



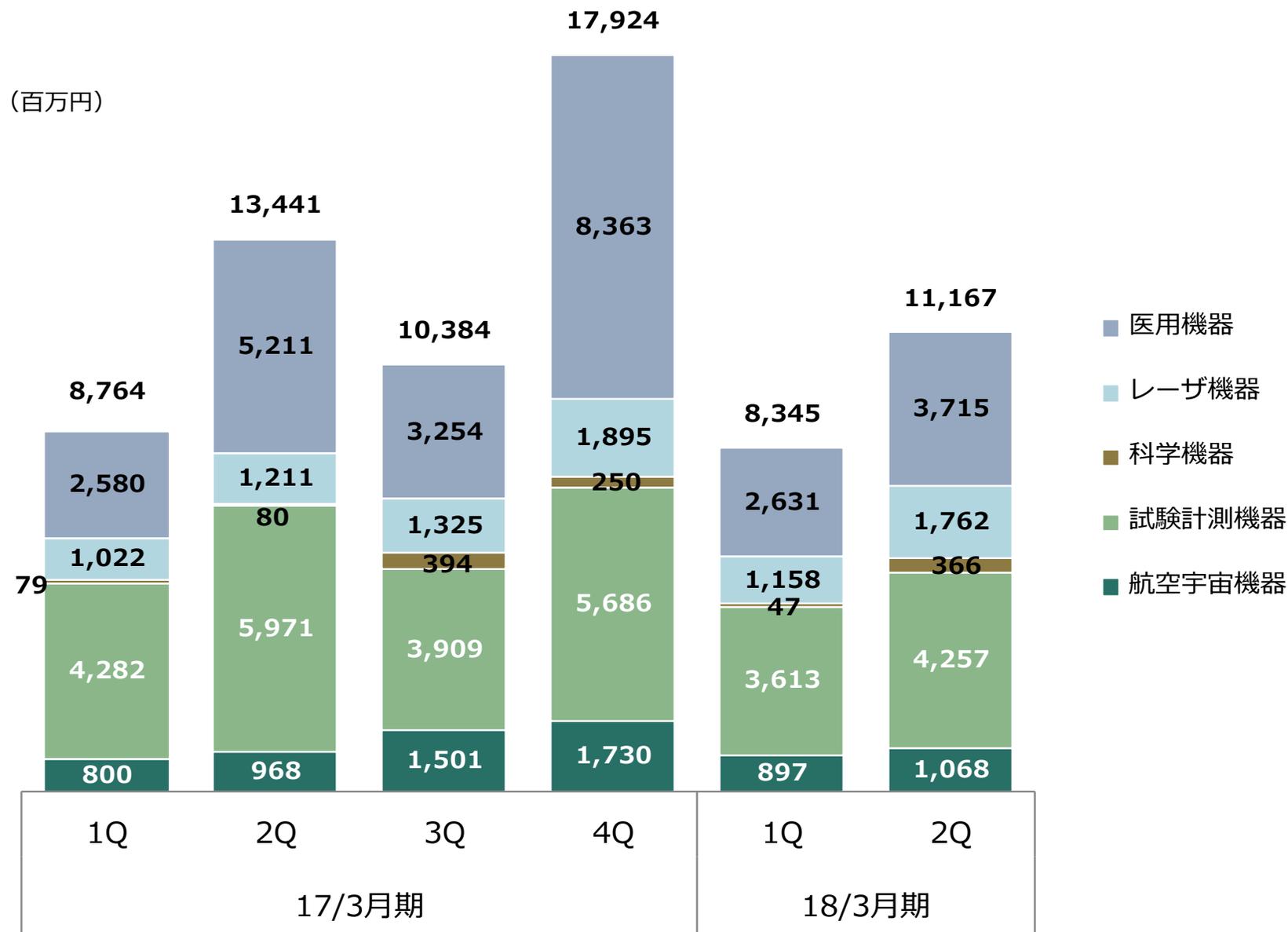
## 事業別売上高



# 業績四半期推移（デバイス事業：品目別売上高）



# 業績四半期推移（システム事業：品目別売上高）



# 本資料お取扱い上のご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な重要な要素により異なる可能性がありますことをご承知おきください。

## 本資料に関するお問い合わせ

丸文株式会社 経営企画部

TEL 03-3639-3010

E-mail [ir@marubun.co.jp](mailto:ir@marubun.co.jp)